

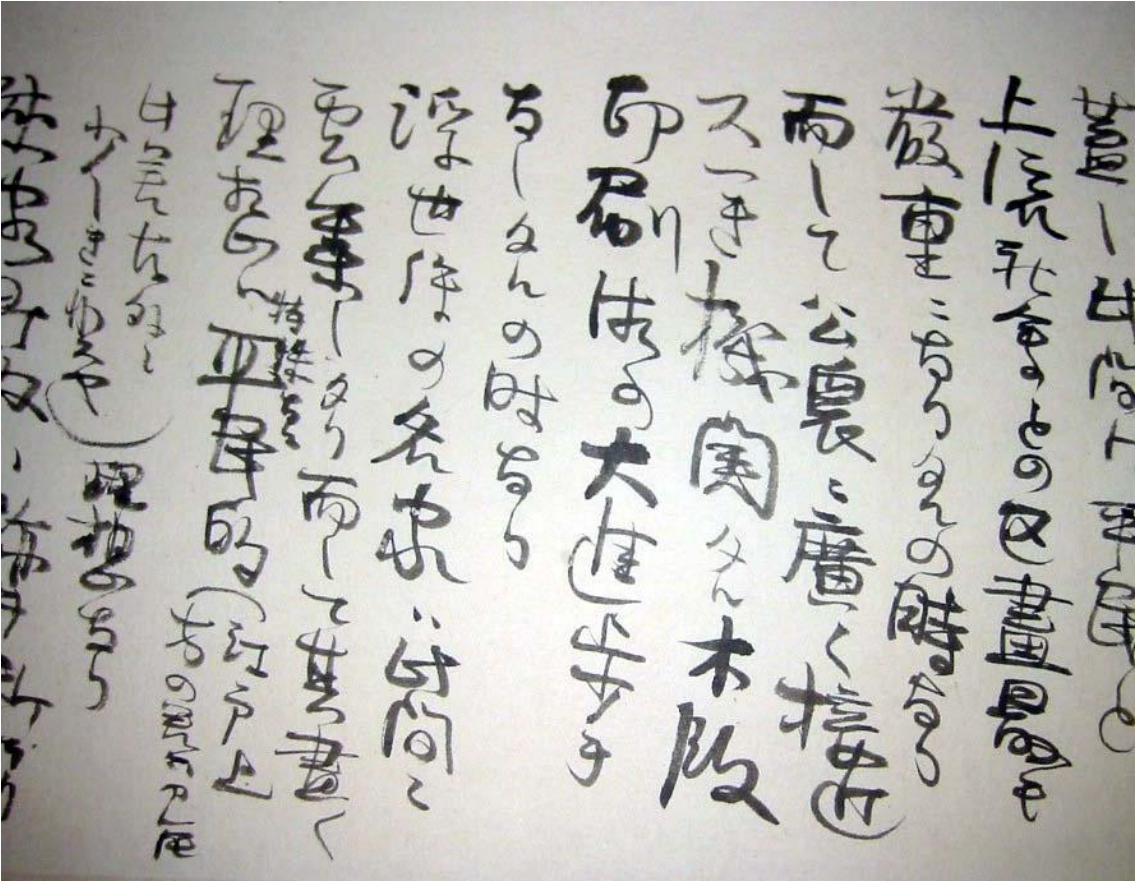
① 享保ヨリ文化の初二至ル

浮世絵の中期(即チ

盛期)ニして純粹浮

世絵ハ此間ヲ見ルヘシ

蓋シ此間は平民と



上流社会との区画最ニ

嚴重ニなりタルの時なり

而して公衆ニ広く接近

スヘキ機関タル木版

印刷術の大進歩ヲ

なしタルの時なり

浮世絵の名家ハ此間ニ

雲集シタリ 而して其画ク

理想ハ特殊なる平民的

(江戸上

方の差ハアレトモ

此差存外ニ

少しきニ非スヤ) 理想なり

奥女中繪巻の珍事
 以来歌舞伎と上流の
 縁ハ薄れタリ 世襲の
 慣習ハ一般文藝ニ及ホして
 浮世絵亦家業ヲ專
 一とするニ至レリ 其写ス
 所は何等の題目そ
 日く小説の挿画
 日く花街の風俗
 日く梨園の姿態

侠客町奴ハ跡ヲ断テリ？

奥女中繪嶋の珍事

以来歌舞伎と上流の

縁ハ薄れタリ 世襲の

慣習ハ一般文藝ニ及ホして

浮世絵亦家業ヲ專

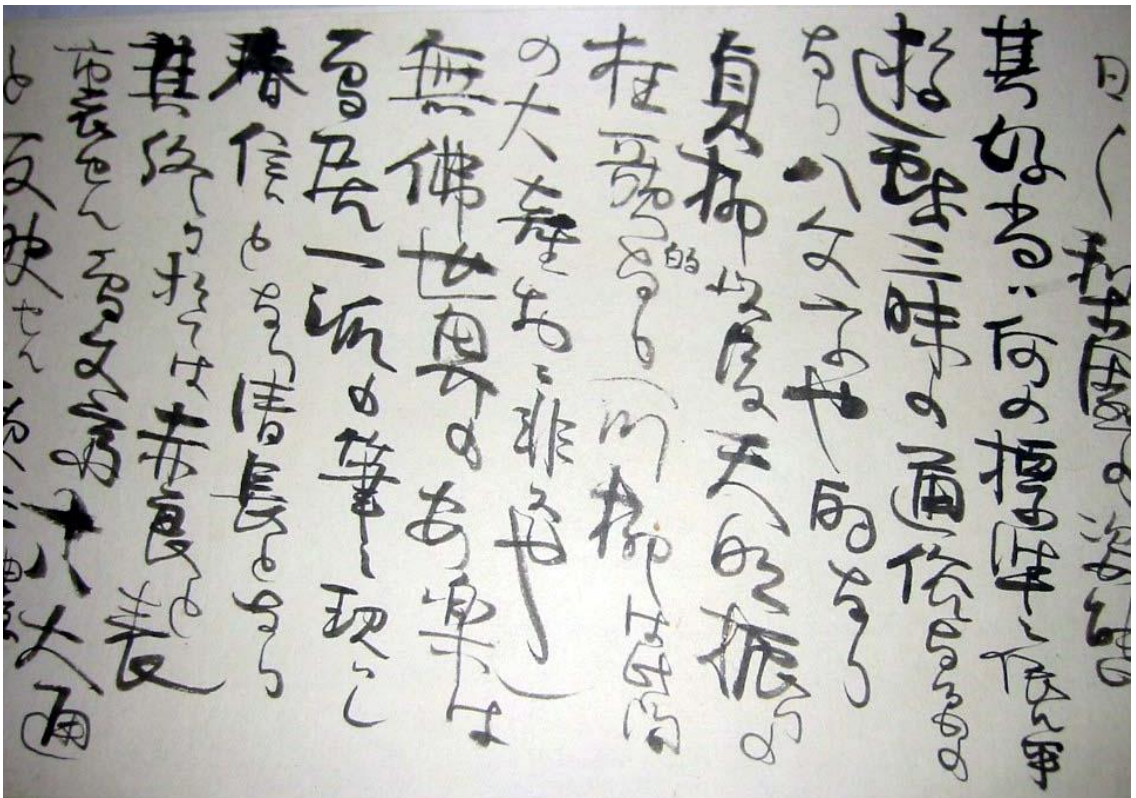
一とするニ至レリ 其写ス

所は何等の題目そ

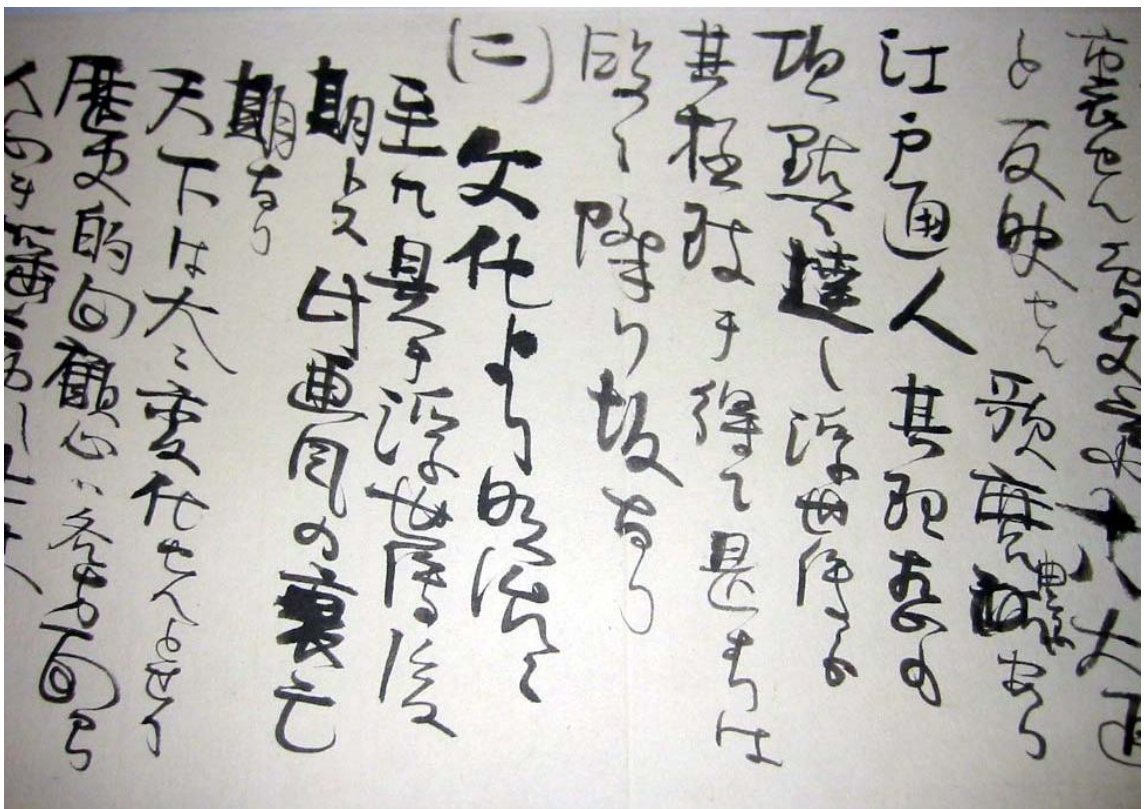
日く小説の挿画

日く花街の風俗

日く梨園の姿態



其好尚八何の標準ニ依ル乎
遊戯三味の通俗なるもの
なり 八文字や的なり
貞柳以後天明振りの
狂歌的なり（川柳は此間
の大産物ニ非スや）
無仏世界の安樂は
鳥居一派の筆ニ現ハレ
春信となり清長となり
其終に於ては赤良と表
裏セル鳥文齋十八大通



(二)

文化より明治ニ

至ル是ヲ浮世絵後

期トス 此画風の衰亡

期なり

天下は大ニ変化せんとせり

歴史的回顧心ハ各方面ヨリ

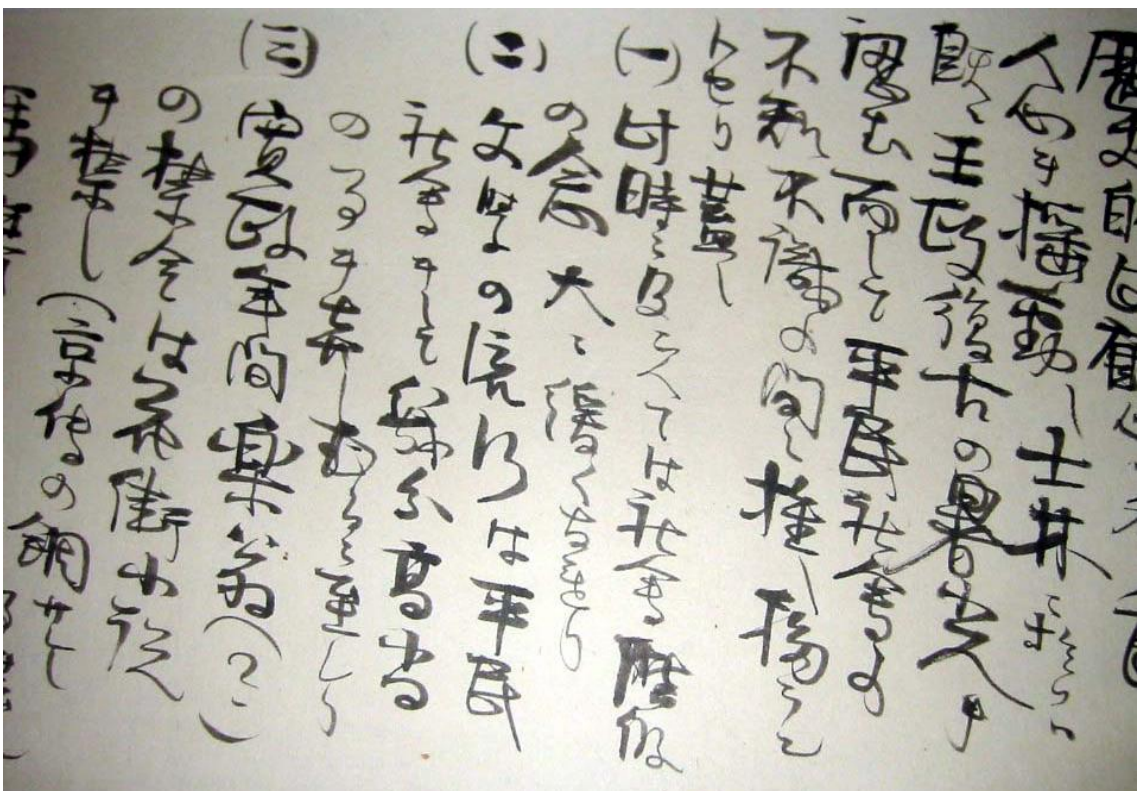
と反映セル歌麿豊国あり

江戸通人其理想の

頂点ニ達し浮世絵も

其極致ヲ得て是よりは

段々降り坂なり



人心ヲ揺動し士林ニ於テハ

既ニ王政復古の曙光ヲ

認む 而して平民社会の

不知不識の間ニ推し移ラン

トセリ 蓋し

(一) 此時ニ及^{ママ}ンんては社会階級

の念大ニ援くなれり

(二) 文学の流行は平民

社会ヲして幾分高尚

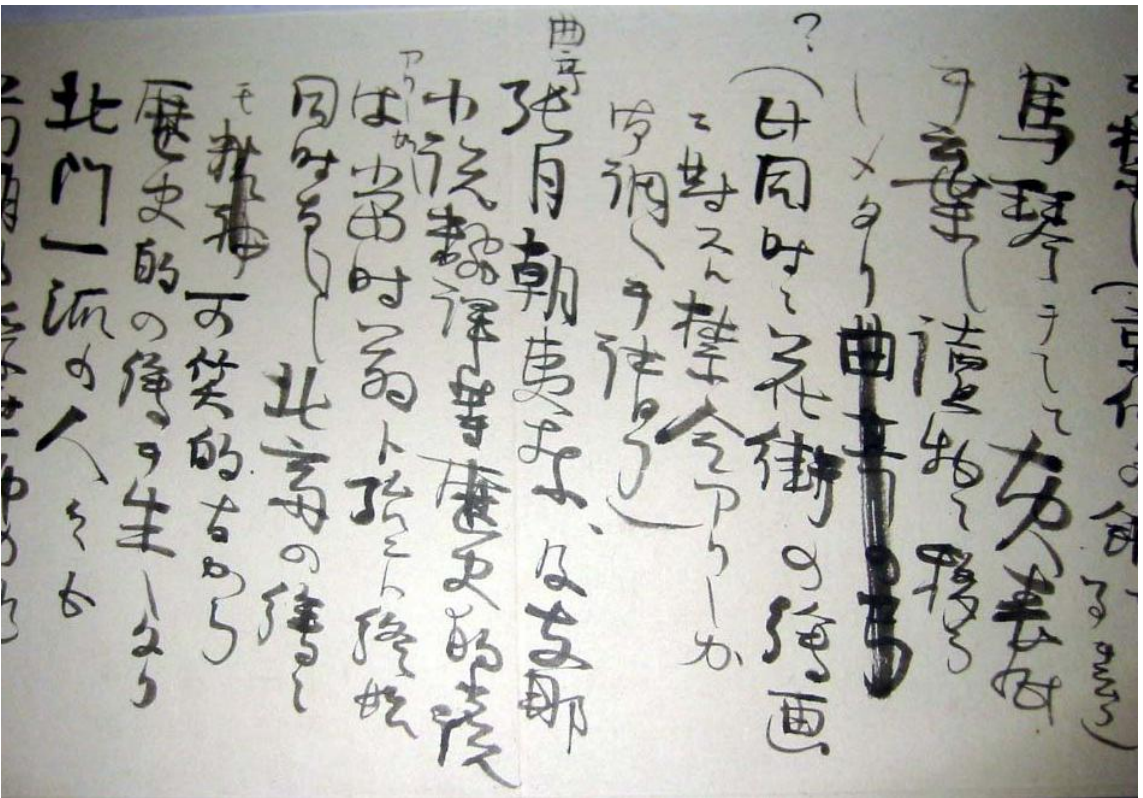
の事ヲ弄しむるニ至レリ

(三) 寛政年間楽翁^{*}(?)

の禁令は花街小説

ヲ禁し(京伝の鯛サレし

* 松平定信のこと。



事ヲ云フ)

馬琴ヲして黄表紙

ヲ棄し読物ニ移ラ

シメタリ

? (此同時ニ花街の絵画

ニ対スル禁令アリしか

御調ヘヲ請フ)

曲亭張月朝夷奈及支那

小説翻譯等歴史的小説

アリし如し

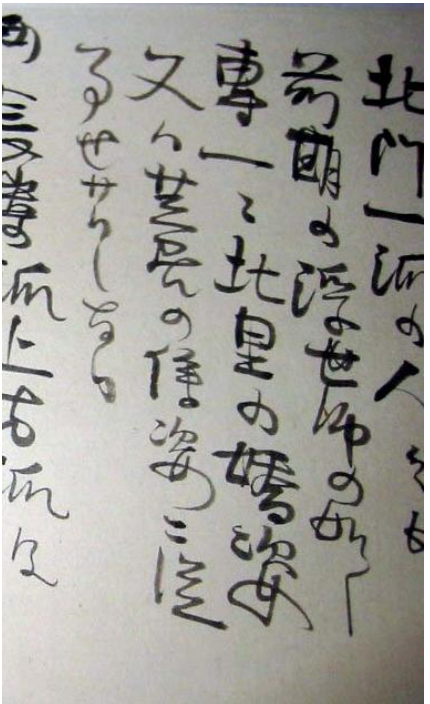
は當時翁ト殆ント終始

同時なるへし北齋の絵ニ

モ可笑的なから

歴史的の絵ヲ生シタリ

北門一派の人々も



前期の浮世師ママの如く
専一と北里の嬌姿
又ハ芝居の繪姿ニ従
事セサリしなり